

令和2年度京都支部事業実施報告について

1. 令和2年度京都支部重点事業実施結果・・・・・・・・・・P1～
2. 令和2年度京都支部K P I達成状況・・・・・・・・・・P2～
3. 評議会における支部保険者機能強化予算の策定スケジュール・・・P22～

令和3年7月16日
令和3年度第1回評議会

令和2年度京都支部重点事業実施結果

※評価は、KPIの達成度合いを
3段階(◎○△)で表示

◎:完全達成 ○:概ね達成 △:未達成

項目	評価	頁	担当グループ
1. サービス水準の向上	◎	3	業務 グループ
2. 限度額適用認定証の利用促進	△	4	
3. 被扶養者資格の再確認の徹底	◎	5	
4. 柔道整復施術療養費の照会業務の強化	△	6	
5. 効果的なレセプト点検の推進	○	8	レセプト グループ
6. 返納金債権発生防止のための保険証回収強化、債権管理回収業務の推進	△	9	
7. オンライン資格確認の円滑な実施	◎	10	
8. 特定健診受診率・事業者健診データ取得率の向上	△	12	保健 グループ
9. 特定保健指導の実施率の向上	△	13	
10. 重症化予防対策の推進	△	14	
11. 健康経営(コラボヘルス)の推進	◎	16	企画総務 グループ
12. 定期広報誌・メールマガジンによる情報発信	△	17	
13. 健康保険委員の委嘱者数の更なる拡大	◎	18	
14. ジェネリック医薬品の使用促進	○	19	
15. 医療データの分析に基づく地域の医療提供体制への働きかけ	△	20	
16. 費用対効果を踏まえたコスト削減等	◎	21	

業務グループ

今後の事業課題

- ・ 限度額適用認定証の利用促進について、Web広告などを利用した制度の普及など効果的な媒体による周知広報を検討する

令和2年度 京都支部事業 KPI達成状況

1. サービス水準の向上

協会けんぽ全体のKPI	京都支部のKPI	KPIの達成状況
①サービススタンダードの達成状況を100%とする ②現金給付等の申請に係る郵送化率を92%以上とする	① 100% サービススタンダードの達成状況を100%とする ※全支部一律に設定 ② 92.0%以上 現金給付等の申請に係る郵送化率を92.0%以上とする ※支部ごとに設定	評価 ◎ ① 100% 達成 (全国46支部達成 全国平均99.5%) ② 93.9% 達成 (全国22位 全国平均94.8%)
平成29年度実績/順位	平成30年度実績/順位	令和元年度実績/順位
①100% (全国42支部達成：99.99%) ②85.5% (全国21位)	①100% (全国41支部達成：99.99%) ②90.2% (全国13位)	①100% (全国39支部達成：99.92%) ②91.6% (全国17位)

新型コロナウイルスによる影響

評価分析及び令和3年度の事業展開

①緊急事態宣言期間中の出勤人数縮減（4/5体制）や就業先支部の変更。また、他支部への審査支援。 ②窓口における職員とお客様、およびお客様同士の接触防止。	①サービススタンダード対象の申請書を優先的に処理することと、徹底した進捗管理により目標を達成した。また、受付から振り込みまでに要する日数を8日から7日に短縮することができた。令和3年度もこのサイクルを継続することを目標に、サービス水準を維持していく。 ②新型コロナウイルスへの感染防止対策として、申請書発送時に「郵送によるお手続き」の利用を促すチラシを同封したことなどで目標を達成した。令和3年度は、申請種別ごとの郵送化率から、さらなる向上を目標とする。
---	--

令和2年度 京都支部事業 KPI達成状況

2. 限度額適用認定証の利用促進

協会けんぽ全体のKPI	京都支部のKPI	KPIの達成状況
高額療養費制度に占める限度額適用認定証の使用割合を85%以上とする	85.0%以上 高額療養費制度に占める限度額適用認定証の使用割合を85.0%以上とする ※支部ごとに設定	評価 △ 78.7% 未達成 (全国35位 全国平均79.6%)
平成29年度実績/順位	平成30年度実績/順位	令和元年度実績/順位
77.31% (全国41位) 全国平均81.14%	78.08% (全国35位) 全国平均81.26%	79.72% (全国32位) 全国平均81.2%
新型コロナウイルスによる影響		評価分析及び令和3年度の事業展開
申請書設置医療機関への協力依頼の自粛。		令和元年度に申請書設置医療機関を183か所に増設することができたが、本年度は利用率の低い医療機関への文書による協力依頼のみの実施となった。新型コロナウイルスによる医療機関への配慮から、電話及び訪問での協力依頼を控えたが、その他有効な取り組みを行うことができず達成できなかった。 令和3年度のKPIの目標達成項目からは除外されたが、オンライン資格確認の実施状況を踏まえつつ、引き続き利用促進を図る。

令和2年度 京都支部事業 KPI達成状況

3. 被扶養者資格の再確認の徹底

協会けんぽ全体のKPI	京都支部のKPI	KPIの達成状況
被扶養者資格の確認対象事業所からの確認書の提出率を92%以上とする	<u>92.0%以上</u> 被扶養者資格の確認対象事業所からの確認書の提出率を92.0%以上とする ※支部ごとに設定	評価 ◎ 92.3% 達成 (全国26位 全国平均91.3%)
平成29年度実績/順位	平成30年度実績/順位	令和元年度実績/順位
87.8% (全国23位) 全国平均86.6%	83.6% (全国47位) 全国平均88.0%	90.3% (全国39位) 全国平均91.3%

新型コロナウイルスによる影響	評価分析及び令和3年度の事業展開
特になし	<p>被扶養者状況リスト未提出の事業所への催告について、支部独自で規模別や業態別にグループ全体での電話による勧奨と文書による勧奨の二つの方法により実施したことにより目標を達成した。</p> <p>また、全国順位としても平成29年度水準に戻すことができた。</p> <p>令和3年度も提出状況を分析し、有効な手段を立案することにより目標達成を目指す。</p>

令和2年度 京都支部事業 KPI達成状況

4. 柔道整復施術療養費の照会業務の強化

協会けんぽ全体のKPI	京都支部のKPI	KPIの達成状況
柔道整復施術療養費の申請に占める、施術箇所3部位以上、かつ月15日以上の施術の申請の割合について対前年度以下とする	1.16%以下 柔道整復施術療養費の申請に占める、施術箇所3部位以上、かつ月15日以上の施術の申請の割合について対前年度以下とする ※全支部一律に設定	評価 △ 1.28% 未達成 (全国39位 全国平均1.12%)
平成29年度実績/順位	平成30年度実績/順位	令和元年度実績/順位
1.45% (全国42位) 全国平均1.34%	1.32% (全国40位) 全国平均1.25%	1.16% (全国38位) 全国平均1.12%

新型コロナウイルスによる影響	評価分析及び令和3年度の事業展開
加入者の施術自粛による申請件数の大幅な減少。	<p>加入者の施術自粛と思われるが、申請件数が前年度と比べ約10%減少した。それに対して3部位15日以上の施術は、ほぼ横ばいが続き0.2%の減少に止まった。加入者への施術内容の照会を2部位以上、8日以上まで基準を引き下げ前年度と比べ1,842件増やしたが、目標は達成できなかった。</p> <p>また、申請内容に疑義のある施術所5か所を面接による確認の対象として選定していたが、事前の文書指摘により改善が見られたため、面接確認には至らなかった。</p> <p>令和3年度も面接確認を視野に入れた、加入者および施術所への施術内容確認により過剰施術の抑制を図っている。</p>

レセプトグループ

今後の事業課題

- ・ データ分析による課題抽出と面談での改善策決定によりPDCAサイクルを回すことで、内容点検査定率を向上させる
- ・ 回収催告文書の早期発送と日本年金機構と連携した事業所への啓発活動により保険証回収率を向上させる

令和2年度 京都支部事業 KPI達成状況

5. 効果的なレセプト点検の推進

協会けんぽ全体のKPI	京都支部のKPI	KPIの達成状況
社会保険診療報酬支払基金と合算したレセプト点検の査定率について対前年度以上とする	0.354%以上 社会保険診療報酬支払基金と合算したレセプト点検の査定率について対前年度以上とする ※全支部一律に設定	評価 ○ 合計 0.351% 概ね達成 (全国13位) 基金 0.277% (全国8位) 協会 0.074% (全国37位)
平成29年度実績/順位	平成30年度実績/順位	令和元年度実績/順位
合計 0.399% (全国13位) 基金 0.302% (全国15位) 協会 0.097% (全国20位)	合計 0.368% (全国18位) 基金 0.286% (全国12位) 協会 0.082% (全国28位)	合計 0.354% (全国18位) 基金 0.277% (全国15位) 協会 0.078% (全国34位)

新型コロナウイルスによる影響	評価分析及び令和3年度の事業展開
緊急事態宣言の発令により、支部点検員の出勤が数か月に渡り半分となり、請求件数が減少したため影響は大きかった。また、医療機関からの診療報酬明細書（レセプト）が約1割以上、手術や内視鏡検査件数も減少し、点検項目が少なくなり苦慮した。	支払基金や医療機関のシステム能力向上により、全国的に査定率が大きく低下している。京都支部もKPIは未達成となったが、査定率の低下が小さく全国順位は昨年度より上昇した。 分析や点検員への助言がやや不十分と思われたため、令和3年度は分析をしっかり行い面談等で適切な助言を行う。また、6か月以内に多くのレセプトを見るため、点検スケジュールを含め見直しを行う。同時に請求事例の情報共有も推進する。基金への進言にも力を入れ、棲み分けを意識しKPIの達成を目指す。

令和2年度 京都支部事業 KPI達成状況

6. 返納金債権の発生防止のための保険証回収強化、債権管理回収業務の推進

協会けんぽ全体のKPI	京都支部のKPI	KPIの達成状況
<p>①日本年金機構回収分も含めた資格喪失後1か月以内の保険証回収率を95%以上とする</p> <p>②返納金債権（資格喪失後受診に係るものに限る）の回収率を対前年度以上とする</p> <p>③医療給付費総額に占める資格喪失後受診に伴う返納金の割合を対前年度以下とする</p>	<p>① 95.0%以上 日本年金機構回収分も含めた資格喪失後1か月以内の保険証回収率を95.0%以上とする ※全支部一律に設定</p> <p>② 75.12%以上 返納金債権（資格喪失後受診に係るものに限る。）の回収率を対前年度以上とする ※支部ごとに設定</p> <p>③ 0.089%以下 医療給付費総額に占める資格喪失後受診に伴う返納金の割合を対前年度以下とする ※全支部一律に設定</p>	<p>評価 △</p> <p>① 合計：89.86% 未達成 (全国45位 全国平均92.41%) 一般：90.25% (全国45位 全国平均92.79%) 任継：81.48% (全国32位 全国平均82.43%)</p> <p>② 66.45% 未達成 (全国23位 全国平均53.40%)</p> <p>③ 0.082% 達成 (全国33位 全国平均0.087%)</p>
平成29年度実績/順位	平成30年度実績/順位	令和元年度実績/順位
<p>① 一般：97.5% (全国97.0%) 任継：97.1% (全国96.4%) 合計：97.5% (全国97.0%)</p> <p>②74.32% (全国12位)</p> <p>③0.059% (全国35位)</p>	<p>① 合計：89.88% (全国91.57%) 一般：90.32% (全国92.02%) 任継：82.08% (全国80.87%)</p> <p>②65.13% (全国19位)</p> <p>③0.043% (全国16位)</p>	<p>① 合計：90.77% (全国93.04%) 一般：91.28% (全国93.56%) 任継：81.40% (全国81.23%)</p> <p>②75.12% (全国6位)</p> <p>③0.089% (全国38位)</p>

新型コロナウイルスによる影響	評価分析及び令和3年度の事業展開
特になし	<p>①保険証回収率は、地域性もあるのか、大阪、兵庫、奈良も全国順位は下位である。令和3年2月から日本年金機構での電子申請にかかる保険証の回収登録処理方法が変更されたことも京都支部にはマイナスに作用した。令和3年度は適宜分析を行い、4月等を重点月と捉え、事業所への電話等効果的な催告を行う。</p> <p>②返納金債権は全国平均は上回ったが、KPIは未達成となった。保険者間調整の積極的活用と、効率の良い催告を心掛けKPIの達成を目指す。</p> <p>③「医療費総額に占める返納金割合」はKPIは達成したが、令和3年度から除外された。</p>

令和2年度 京都支部事業 KPI達成状況

7. オンライン資格確認の円滑な実施

協会けんぽ全体のKPI	京都支部のKPI	KPIの達成状況
現行のオンライン資格確認システムについて、USBを配布した医療機関における利用率を50%以上とする	<u>100%</u> 現行のオンライン資格確認システムについて、USBを配布した医療機関における利用率を100%以上とする ※支部ごとに設定	評価 ◎ 100% 達成 (全国平均53.7%)
平成29年度実績/順位	平成30年度実績/順位	令和元年度実績/順位
50.0%	50.0%	100.0% (全国平均47.3%)

新型コロナウイルスによる影響	評価分析及び令和3年度の事業展開
特になし	配布医療機関は1医療機関のみで、利用率は100%であった。 令和3年2月に、医療機関からUSBを回収し本部へ返却し終了。

保健グループ

今後の事業課題

- 事業者健診における新スキームの定着
- 特定保健指導の事業所の受入率の向上、ICT活用の推進
- 健診機関における未治療者への受診勧奨の拡大

令和2年度 京都支部事業 KPI達成状況

8. 特定健診受診率・事業者健診データ取得率の向上

協会けんぽ全体のKPI	京都支部のKPI	KPIの達成状況
①生活習慣病予防健診実施率を55.9%以上とする ②事業者健診データ取得率を8.0%以上とする ③被扶養者の特定健診受診率を29.5%以上とする ①+②+③ 56.3%	① 62.8%以上 生活習慣病予防健診実施率を62.8%以上とする ※支部ごとに設定 ② 5.6%以上 事業者健診データ取得率を5.6%以上とする ※支部ごとに設定 ③ 27.8%以上 被扶養者の特定健診受診率を27.08%以上とする ※支部ごとに設定 ①+②+③ 56.5%	評価 △ ① 生活習慣病予防健診 57.7% 未達成 (全国20位) ② 事業者健診データ 7.5% 達成 (全国31位) ③ 被扶養者の特定健診 22.1% 未達成 (全国33位) ①+②+③ 未確定
平成29年度実績/順位	平成30年度実績/順位	令和元年度実績/順位
①57.3% (全国17位) ② 2.9% (全国44位) ③23.4% (全国26位) ①+②+③ 51.3%	①58.4% (全国16位) ② 3.4% (全国42位) ③24.6% (全国26位) ①+②+③ 53.1% (全国29位)	①60.3% (全国16位) ② 3.4% (全国46位) ③25.4% (全国26位) ①+②+③ 54.7% (全国31位)
新型コロナウイルスによる影響	評価分析及び令和3年度の事業展開	
①・③において4月、5月の緊急事態宣言下では健診すべてを中止。また6月以降も受診控えが続いた。③において予定していた集団健診における会場費補助事業及びそのDM勧奨事業を中止、またがん検診同時実施勧奨は実施時期を変更。②においては、事業所（特に医療機関事業所）でコロナによる多忙を理由とする提出拒否が見受けられた。	①昨年比 -2.6% 実施機関4機関増、下期集団健診DM勧奨、初めて生活対象者（35歳）等個人勧奨など、計画どおり行うとともに、コロナによる未受診者増を考慮し、勧奨件数を計画よりも増やし対応した。令和3年度は、受診率の低い新規適用事業所への受診勧奨強化や健診機関が少ない地域での契約健診機関の拡大を推進する。 ②昨年比 +4.1% 大規模事業所などを中心に支部からの勧奨を強化、またデータ提供を行う健診機関との連携を密にすることで取りこぼし防止を図りKPI達成。令和3年度は国より示された新たな事業者健診スキームを京都府内健診機関へ定着させていく必要がある。 ③昨年比 -3.3% 個別案内の拡大、新たに福知山市と連携協定を締結し特定健診とがん検診同時実施勧奨の実施、2月のオプション健診実施機関5機関増など、実施可能な計画について予定どおり行ったが、4～5月の緊急事態宣言の影響が大きく、受診率が悪化した。令和3年度はがん検診同時実施勧奨を行う自治体の拡大を目指す。	

令和2年度 京都支部事業 KPI達成状況

9. 特定保健指導の実施率の向上

協会けんぽ全体のKPI	京都支部のKPI	KPIの達成状況
特定保健指導の実施率を20.6%以上とする	<p>①<u>14.8%以上</u> 被保険者特定保健指導の実施率を14.8%以上とする ※支部ごとに設定</p> <p>②<u>8.2%以上</u> 被扶養者特定保健指導の実施率を8.2%とする ※支部ごとに設定</p> <p>①+② 14.5%以上</p>	<p>評価 △</p> <p>① 被保険者特定保健指導の実施率 12.47% 未達成 (全国39位)</p> <p>② 被扶養者特定保健指導の実施率 7.93% 未達成 (全国31位)</p> <p>①+② 12.30% 未達成 (全国40位)</p>
平成29年度実績/順位	平成30年度実績/順位	令和元年度実績/順位
7.5% (全国43位)	11.5% (全国41位)	15.8% (全国37位)

新型コロナウイルスによる影響	評価分析及び令和3年度の事業展開
<p>4～5月は緊急事態宣言発令により保健指導を中止した。 宣言解除後も、感染予防の観点から対面による保健指導を辞退されるケースがあったため、文書による健康相談を実施することにより対応した。</p>	<p>保健指導実施率（被保険者＋被扶養者）15.8% → 12.3%</p> <p>健診機関での健診当日及び遠隔による保健指導実施の推進、外部専門機関による個人勧奨の実施及び継続支援実施数の拡大等を図ったが、KPI達成には至らなかった。また、4～5月は緊急事態宣言の発令により保健指導を中止したため、外部専門機関、支部ともに影響を受けた。</p> <p>令和3年度は、健診機関での保健指導実施の拡大、支部からの利用勧奨実施数の拡大や事前に面談日を設定することによる初回面談決定率の向上、外部専門機関によるICTを活用した遠隔面談実施数の拡大等を図る。新型コロナウイルスの影響等により対面による保健指導が困難な場合は、支部及び外部専門機関による遠隔面談の実施を推進していく。</p>

令和2年度 京都支部事業 KPI達成状況

10. 重症化予防対策の推進

協会けんぽ全体のKPI	京都支部のKPI	KPIの達成状況
受診勧奨後3か月以内に医療機関を受診した者の割合を12.9%以上とする	12.9%以上 受診勧奨後3か月以内に医療機関を受診した者の割合を12.9%以上とする ※支部ごとに設定	評価 △ 9.47% 未達成 (全国37位)
平成29年度実績/順位	平成30年度実績/順位	令和元年度実績/順位
9.9% (全国24位)	9.5% (全国21位)	10.2% (全国27位)

新型コロナウイルスによる影響

糖尿病重症化予防対策会議はコロナ禍で、すべて遠隔実施が書面開催となった。新型コロナウイルスの影響で健診などの受診控えがあったため、未治療者の受診にも影響が出ていると思われる。

評価分析及び令和3年度の事業展開

京都府、各保健所の糖尿病重症化予防対策会議に参加し状況を共有。外部委託業者による未治療者へ文書・電話による受診勧奨を実施したが、コロナの影響もあり受診へつながらなかった。

元年度から2年度まで実施のパイロット事業（健診機関で、健診当日に健康相談を行い、受診者の健康意識を高め、未治療者の受診・保健指導へもつなげる事業）の継続実施を行った。アンケートでは満足度は高かったため、今後は全国展開に向けて、参加者の受診状況やアンケートを分析し評価する。

企画総務グループ

今後の事業課題

- ・ 行動変容に繋がる効果的な広報の実施
- ・ 健康保険委員の委嘱者数の更なる拡大
- ・ ジェネリック医薬品の安全性の確保を大前提とした使用促進

令和2年度 京都支部事業 KPI達成状況

1.1. 健康経営(コラボヘルス)の推進

協会けんぽ全体のKPI	京都支部の目標	目標達成状況
※令和2年度 KPIの設定なし (参考) 令和3年度 KPI 健康宣言事業所数：700社以上	宣言事業所数：558社以上 健康経営優良法人：120社以上	評価 ◎ 宣言事業所数：615社 健康経営優良法人：160社
平成29年度実績/順位	平成30年度実績/順位	令和元年度実績/順位
宣言事業所数：283社 健康経営優良法人：20社	宣言事業所数：355社 健康経営優良法人：51社	宣言事業所数：458社 健康経営優良法人：95社

新型コロナウイルスによる影響	評価分析及び令和3年度の事業展開
----------------	------------------

<ul style="list-style-type: none"> 健康講座の実施方法に遠隔実施を追加 (約3割の事業所で実施) 京都府主催(協会けんぽ後援)の「ヘルス博Kyoto2020」は ヴァーチャルで開催 「モデル事業所での健康経営実践プロジェクトトライアル」 事業の中止 	<ul style="list-style-type: none"> 健康宣言事業所数(目標)100社増 → 157社増 健康経営優良法人(目標)25社増 → 65社増 健康講座の実施(80社)、健康測定器の貸出(93社)、事業 所健康度診断書の配付(195社)等の健康経営サポート事業を実施 上記の取り組みに加えて、経済三団体と連携した健康宣言事 業案内や健康経営セミナーの開催等により健康経営実践事業所 数が増加し、健康経営の普及推進に一定の効果が得られ た。 令和3年度は、第5期アクションプランに基づき健康宣言事業 の標準化及びコロナ禍を踏まえたフォローアップ事業の充実に 取り組んでいる。
--	--

令和2年度 京都支部事業 KPI達成状況

12. 定期広報誌・メールマガジンによる情報発信

協会けんぽ全体のKPI	京都支部のKPI	KPIの達成状況
広報活動における加入者理解率の平均について対前年度以上とする (参考) 令和3年度はKPIの設定なし	<u>44.9%以上</u> 広報活動における加入者理解率の平均について対前年度以上とする ※全支部一律に設定	評価 △ 41.1% 未達成 (全国25位)
平成29年度実績/順位	平成30年度実績/順位	令和元年度実績/順位
35.9% (データなし)	38.3% (全国20位)	44.9% (全国28位)

新型コロナウイルスによる影響	評価分析及び令和3年度の事業展開
・算定基礎届説明会、社会保険事務講習会の中止	・メールマガジン登録者数 一般加入者 : 3,474人 (対前年+460名) 内健康保険委員 : 1,655人 (対前年+439名) ・令和3年度は、加入者理解度調査の委託事業者ごとに回答結果が異なる傾向があり、指標としての正確性に欠くことからKPIとして設定を行わないこととなったが、調査結果から理解度が全国平均を下回っていた「健診・保健指導」「現金給付」等を中心に、WEB広告等を活用した広報を実施する。

令和2年度 京都支部事業 KPI達成状況

13. 健康保険委員の委嘱者数の更なる拡大

協会けんぽ全体のKPI	京都支部のKPI	KPIの達成状況
全被保険者数に占める健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者数の割合を43%以上とする	<u>41.0%以上</u> 全被保険者数に占める健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者数の割合を <u>41.0%</u> 以上とする ※支部ごとに設定	評価 ◎ 41.7% 達成 (全国40位)
平成29年度実績/順位	平成30年度実績/順位	令和元年度実績/順位
31.1% (全国40位)	33.2% (全国43位)	37.9% (全国42位)

新型コロナウイルスによる影響

- ・健康保険委員研修会の実施方法を集合研修形式（年2回、複数会場で開催）から動画配信形式に変更して実施
- ・健康保険委員表彰式を集合形式から事業所への訪問による表彰状授与に変更

評価分析及び令和3年度の事業展開

- ・令和2年度は、大規模事業所を中心に文書・電話勧奨等を実施し、目標を達成。
- ・しかし、全国順位は40位となっており、健康保険委員を通じた事業主及び加入者への制度周知強化を図るためにも、委嘱者数の更なる拡大が課題。
- ・令和3年度は、健診受診率等から事業所の状況に応じた委嘱勧奨を実施するとともに、健康経営の推進と併せて健康保険委員の必要性の理解促進に取り組んでいる。

令和2年度 京都支部事業 KPI達成状況

14. ジェネリック医薬品の使用促進

協会けんぽ全体のKPI	京都支部のKPI	KPIの達成状況
協会けんぽのジェネリック医薬品使用割合を80%以上とする	<p>77.4%以上 協会けんぽのジェネリック医薬品使用割合を77.4%以上とする《新指標*》 ※支部ごとに設定</p> <p>*新指標…調剤レセプトと医科レセプトを含めた指標 旧指標…調剤レセプトのみの指標</p>	<p>評価 ○</p> <p>77.2% 概ね達成 (全国43位) ※R3.2月診療分</p>
平成29年度実績/順位	平成30年度実績/順位	令和元年度実績/順位
68.8% (全国39位) 《新指標》	72.8% (全国39位) 《新指標》	75.3% (全国43位) 《新指標》
新型コロナウイルスによる影響		評価分析及び令和3年度の事業展開
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院、薬局訪問の中止 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院、薬局に対するパイロット事業（地域医薬品実績リスト）等の情報提供に加えて、加入者に対する動画等を活用した広報を実施。 ・ 関係団体と調整の上、医療機関及び薬局に対する更なる情報提供の実施に向けて取り組んでいたが、昨今のジェネリック医薬品の安全性に関する重大事案を踏まえて対応を検討中。 ・ 令和3年度は、ジェネリック医薬品の安全性確保を大前提に、引き続き使用促進に向けて取り組む。

令和2年度 京都支部事業 KPI達成状況

15. 医療データの分析に基づく地域の医療提供体制への働きかけ

協会けんぽ全体のKPI	京都支部のKPI	KPIの達成状況
①他の被用者保険者との連携を含めた、地域医療構想調整会議への支部参加率を90%以上とする ②「経済・財政と暮らしの指標「見える化」データベース」などを活用した効果的な意見発信を全支部で実施する	① 90.0% 他の被用者保険者との連携を含めた、地域医療構想調整会議への支部参加率を 90.0% 以上とする ※支部ごとに設定 ②「経済・財政と暮らしの指標「見える化」データベース」などを活用した効果的な意見発信を実施する ※全支部一律に設定	評価 △ ① 71.4% (5/7カ所) ② 未達成
平成29年度実績/順位	平成30年度実績/順位	令和元年度実績/順位
①71.4% (5/7カ所) ② -	①71.4% (5/7カ所) ② -	①71.4% (5/7カ所) ② -

新型コロナウイルスによる影響	評価分析及び令和3年度の事業展開
・地域医療構想調整会議等の中止や書面開催等による開催方法の変更	①医療保険者協議会で協議の上、各地域医療構想調整会議の議事等について共有する体制を構築した。なお、令和3年度からは、被用者保険者が参加していない地域医療構想調整会議については、市町村国保等により保険者の枠が埋まっていること等からKPIの設定は行わないこととなった。 ②外部会議が中止や書面開催等となり、意見発信の機会が少なかった。令和3年度は、引き続き意見発信に資するデータ分析に取り組む。

令和2年度 京都支部事業 KPI達成状況

16. 費用対効果を踏まえたコスト削減等

協会けんぽ全体のKPI	京都支部のKPI	KPIの達成状況
一般競争入札に占める一者応札案件の割合について、20%以下とする	<u>20.0%以下</u> 一般競争入札に占める一者応札案件の割合について、 <u>20%</u> 以下とする ※全支部一律に設定	評価 ◎ 14.3% (3/21件) 達成 (全国31位)
平成29年度実績/順位	平成30年度実績/順位	令和元年度実績/順位
—	15.4% (全国14位)	23.6% (全国27位)

新型コロナウイルスによる影響	評価分析及び令和3年度の事業展開
・ 特になし	・ 他支部や官公庁等の調達情報を確認して、入札参加可能と思われる事業者への声掛けを徹底したことで、目標を達成。 ・ 令和3年度も事業者への声掛けを徹底するとともに、公告から入札までの期間をできるだけ長く設定することで、より多くの事業者の参加を促して、競争性の確保に取り組む。

評議会における支部保険者機能強化予算の策定スケジュール

